この会報は行政区等を通じて青少年育成牛久市民会議に賛同された会員の会費により製作されています。

会報ふれあい

No.70
令和5年11月1日

発行・編集　青少年育成牛久市民会議　　事務局　生涯学習課 TEL.873-2111

鯉まつりに続きふれあいキャンプも大成功

青少年育成牛久市民会議は力強く再出発しました

青少年育成牛久市民会議会長　田井　鉄男

令和5年5月3日、牛久市の子どもたちをはじめとして、皆さんが待ちに待っていたうしく鯉まつりが、晴天下、日本遺産フェスタとの同時開催で会場を近隣公園から、初めて牛久シャトーに移しての開催となりました。

当日会場は人、人、人で埋め尽くされ、皆さんがどんなにかこの日を、うしく鯉まつりの開催を待ちわびていたかが改めて感じられました。スタッフの皆さんは、実行委員会を何度も開き、3年間のブランクがあり、これまでとは場所も内容も異なるうしく鯉まつりを、どのようにすれば皆さんに喜んでいただけるか、検討に検討を重ねました。

広さに限りのある牛久シャトーのバーベキューガーデンをいかに効率的に使うか、スタッフは様々に工夫を凝らしました。蓋を開ければ、スタッフは食事時間を取れないほどの回転率で、うれしい悲鳴を上げていました。例年とは異なる場所、限られた時間の中で盛りだくさんの種目を実施し、皆さんが喜んでくださる姿を見て、うしく鯉まつりの復活は大成功したとスタッフ一同安堵したところです。

そしてこの夏8月下旬、小学5・6年生を対象とするふれあいキャンプも復活しました。これも例年とは異なり、1泊2日で場所もこれまでの常陸太田市の龍神ふるさと村から、行方市にある白浜少年自然の家と、近場でのキャンプになりました。説明会には子供さんに代わってお父さんが参加するというハプニングもありました。

日程が1泊2日と限られているため、キャンプファイヤーの出し物の準備時間が削られて心配しましたが、子供たちは班名をさっさと決め、班旗のデザインを考え、それを描いていく実に手際よい姿が見られました。

バスに乗って、いざ、出発！自然の家に到着後、昼食を済ませ、早速の火おこしも真剣に薪を割る姿が印象的でした。キャンプファイヤーの出し物も、多くの班が短時間の練習で、ほぼ完成しているのはさすがでした。本番ではそれぞれ特徴のある出し物が披露されました。ただ、もう少しスペースを広く使ってもらったら、さらに良い見栄えになったと思いました。

2日目のバーベキューでは、出来上がりに班ごとの差が見られましたが、子供たちが自分たちの作った焼きそば、焼き肉を食べ大満足している姿が見られ、やはり、キャンプは楽しくもあり、子供たちを成長させてくれるいい機会でもあることを強く感じました。

いろいろな制約のある中での、うしく鯉まつりとふれあいキャンプでしたが、キャリア豊富なスタッフにより内容的にはとても充実していたと思います。

今年の後半の行事も来年の行事も今回の反省も踏まえ、青少年育成牛久市民会議はさらに皆さんに楽しんで頂ける行事になるよう、力を合わせて活動していきますので、家庭・学校・地域の皆様のご協力を宜しくお願い致します。

8月22－23日　児童30名・協力者など合計50名が参加

ふれあいキャンプ、今年は白浜少年自然の家で

木立越しに北浦を望む
子どもたちも思わず歓声

青少年育成牛久市民会議が小学校・義務教育学校５・６年生の子どもたちを連れて行く「ふれあいキャンプ」が、８月22―23日の２日間、４年ぶりに霞ヶ浦の北浦湖岸にある白浜少年自然の家で開催されました。参加したのは児童30名、指導者４名、役員11名、市職員５名の合計50名でした。

コロナ禍による３年間の空白で開催環境にいろいろな変化がありました。一番大きく変わったのは開催期間が２泊３日から１泊２日に短縮され、開催場所がこれまでの龍神ふるさと村（常陸太田市）から白浜少年自然の家に変わったことです。

従来と同じ開催日と開催期間の設定では市役所のバスの予約が取れず、資材を運ぶトラックを運転できる人材の確保も難しかったため、いろいろな候補地を調べた末に、食料等を購入できる白浜少年自然の家が選ばれました。

８月22日、市民会議の役員は午前８時30分には中央生涯学習センターのロータリー前に集まって準備にかかり、９時には受付開始。急遽参加を取りやめることになった３人を除く30人の子どもの参加を確認しました。出発式は、多少なりとも日差しが遮られる木立の下で行われ、集まったのは保護者も含めて約80人でした。

キャンプ長の田井市民会議会長と根本市長の挨拶に続き、指導責任者の戸舘ボーイスカウト牛久第２団委員長が、キャンプ班活動の心得や班の各係の役割などを確認して式を終了。定刻10時に２台のバスに分乗して出発しました。

バスは霞ヶ浦南岸の国道１２５号から潮来市を抜けて、11時20分ごろに行方市の北浦西岸に位置する白浜少年自然の家に到着しました。芝がきれいで建物も立派。木立越しに北浦を見下ろせる自然環境も抜群で、子どもたちは思わず歓声を上げていました。

まず火起こしの練習
薪割りはハンマーで？

「はじめのつどい」が終わり、昼食は持参の弁当。これはかまどのある土間に屋根をつけた野外炊飯場で食べました。風もよく通って気分の良い昼食になりました。食後のデザートはマシュマロ焼きでした。薪で火を起こし、棒の先につけたマシュマロを自分で焼いて食べるのです。外はカリカリ、中はトロトロのマシュマロは、子どもたちを十分魅了したようでした。

マシュマロ焼きは火起こしの練習を兼ねていました。かまどで火を燃やすことについては、子どもたちは本能的とも言える興味と喜びを示し、必要なときには必ずかまどの前に陣取る子どももいました。火加減の調整はそう簡単ではなく、空気が通りやすい薪の置き方など、大人と一緒になっていろいろ工夫していました。

かまどで火を燃やすには薪が必要です。そのためにふれあいキャンプ史上初の新機軸が登場しました。「まきわり機」です。

薪は、これまでは長さ数10㌢の丸太や角材を斧で割って作っていました。丸太を真っ直ぐに立て、そこに斧を力強く打ち下ろして、縦に割るのです。この作業は、斧の刃を自分の頭より高い位置からかなりの力を込めて、直径10㌢ほどの丸太の切り口に正確に打ち下ろさなければなりません。刃が木に当たる位置や角度が正確で、且つ力も込もっていないと、木は割れないか、横に倒れてしまうか、最悪の場合は自分の足を傷つけてしまいます。

というわけでかつては、ここは大人が子どもに薪割りのコツを伝授する貴重な場だったのですが、今やその必要はなくなりました。

「まきわり機」は、直径10数㌢ほどの丸くて厚い鉄の底板に上向きの刃をつけ、底板の周囲から４本の細い鉄棒を立ち上げ、丸太の長さより少し低い位置に鉄の輪がついています。丸太を輪の中に入れ、下の切り口を割りたい位置で刃に合わせ、上から斧ではなく、ハンマーで思い切りたたけば、薪は簡単に割れます。斧で割るようなコツは不要で、けがの心配もありません。

子どもたちは薪割り自体が初体験なので「まきわり機」も話題にはなりませんでしたが、大人にとっては、かなりの感慨を伴う技術革新でした。

最高のキャンプファイヤー
全員で牛久版阿波踊り

初日の午後、子どもたちはキャンプファイヤーでの出し物をみんなで話し合って決めて練習。夕食は５時半から、キャンプ場が用意

白浜少年自然の家ふれあいキャンプ

24名が感想文　楽しかった北浦湖畔の2日間

したハンバーグ定食でした。

キャンプファイヤーは6時半から始まりました。キャンプファイヤー場は安心して盛大に火を燃やせるように設備が整えられていました。薪の量が足りず、最後になるころは火が心細くなってしまいましたが、雰囲気は終わりに近づくにつれて最高に盛り上がりました。

子どもたちは各班が10分以内の持ち時間で寸劇を行いました。短時間でストーリーも演技も創り出さなければならないので、完成度はあまり問われませんが、現代を生きる子どもが考えた桃太郎や全くの創作劇など、アピールするツボに苦心の跡が見られる出し物が続きました。

今回のキャンプファイヤーで一番受けたのは最後に出た大人たちの牛久版阿波踊りでした。大人たちは最初からひたすら踊りまくることに徹し、これが大成功でした。踊り方が正しいのか上手なのか下手なのか。そういうことに気を遣う雰囲気が全くない中で踊りが始まり、途中から子どもたちも独り残らず輪に加わり、持ち時間をはるかに超えて、最後には「もう、いい加減にしたら」と言われるまで踊った阿波踊り。ある役員は「今回は阿波踊りがハイライトだった」と述懐していました。

踊りの興奮も冷めて、入浴は広い立派な浴室。寝室は男子も女子も24人収容のきれいな和室。ここでは男子だけでなく、女子も盛大に枕投げをやりました。寝室は学校の違う者同士でおしゃべりがしやすい場所としても大切でした。

ゲームで皆と接点が出来た　昼食は自分たちで作った

2日目。朝8時前から自然の家の玄関前で朝礼とラジオ体操。その後、ゲームで遊びました。

初体験の輪くぐりゲームは、班の全員が横になって手をつなぎ、輪になったロープを、手を離さずに右の人から左の人へと渡し、渡し終わるまでの時間を競うゲームです。ロープの輪に何とかして頭を突っ込むのがポイントですが、子どもによってはなかなかうまく渡せないまま時間が過ぎることもありました。

子どもたちも学校が違うと接点が出来にくいものですが、そういう子どもも、3回勝てば勝ち組に入れるジャンケンゲームでは、相手を求めてあちこち飛び回っていました。

昼食は自分たちで作る焼きそばと焼き肉。11時から作り始めました。作業は、下ごしらえ、かまど、調理、配膳などの係に分かれて行いました。キャベツの切り方は女性の役員から教わって、焼きそば用は小さく、焼き肉用は大きく切り分けていました。

見た目いろいろな焼きそばが出来ましたが、自分で作った物を自分で食べる。みんな美味しそうに食べていました。食後の片付けも全部自分たちでやりました。鉄板を洗った子どもたちの手は真っ黒になりましたが、食器類、炊事道具はすべてきれいに洗い上げられました。

設備がみんな立派なので、龍神ふるさと村に比べれば野性味に欠けるとの評価もありましたが、キャンプ生活の楽しさは十分に味わえました。バスで帰路についたのは午後3時。中央生涯学習センターに帰着したのは4時ごろ。保護者が20人ぐらい待っていました。解散式が終わっても迎えが来ない子どもも何人かいましたが、その子たちには迎えが到着するまで市の職員が付き添いました。夕食では家族に楽しかった思い出を披露したと思います。

1班　永遠friends

おいしかったマシュマロ

中根小　六年　山形　琥珀

今年、初めてちがう学校の知らない人とキャンプをしました。最初は、なかなかきんちょうしていたけど、どんどん心のきょりをちぢめることができました。

初日は、おべんとうを食べました。そのあと、マシュマロを食べました。まずは、中プニ外トロでためしました。それがすーごくおいしかったです。

2日目は、外で焼きそばを自分たちでつくりました。そのあとにしたゲームがむずかしくて楽しかったです。

来年は参加できないけど、いい経けんになり、思い出になりました。

1泊2日のおもいで

ひたち野うしく小

六年　辻井　優乃

私が楽しかった、心に残ったことで、楽しかったことは、3つあります。1つ目はまくらなげです。みんなとまくらなげをして楽しかったからです。2つ目はキャンプファイヤーです。ぜんいんがげきをやって楽しかったから。3つ目はゲーム大会や鉄板焼き。ゲームではいろいろなゲームをやって、鉄板焼きはおいしくつくれたから。

心に残ったことは鉄板焼きや、まくらなげ、ともだちをつくれたこと。ちがう学校の人ととまったこと。とくに心に残ったことは、ともだちをつくれたことです。最初はともだちは同じ学校の子だけかと思ってたら、バスの中で友達ができたし、遊んでいるときに友達ができたからうれしかった。

会うのはこんかいだけだと思うけどふれあいキャンプをして友達をつくれてよかった。あとたきびはマシュマロとかたべれてよかった。

無　題

おくの義務教育学校
五年　岩澤　凛空

ぼくは、家でふれあいキャンプのおたよりを見たとき、友達といっしょに行けたらいいなと思っていたら、友達にさそわれて行くことにしました。説明会に行くと、友達とキャンプに行くつもりだったけど班が全員ばらばらになってしまってがっかりしました。説明でほかの学校の人と仲よくして協力をするコンセプトですといってそういうことかと思った。説明会では、知らない人の中で旗を作成したり仲よくなれた。

キャンプ当日はきんちょうしたけど、だんだんなれてきても太郎のげきもうまくできた。夜は同じ学校の友達と遊べてうれしかった。そしてキャンプファイヤーのマシュマロ焼きをやってすごくおいしかった。またこのようなイベントがあったらいいけいけんだったので参加したいです。

キャンプの感想

中根小　五年　榊原　健真

みんなでマシュマロを焼いたのが楽しかった。まきわりも楽しかった。焼きそばがおいしかった(ちょっとこげたけど)。みんなの出し物はおもしろかった。夜はマクラなげもやって楽しかった。あんまねれなかった。ゲーム大会も楽しかった。きおくゲームむずかしかった。みんなでキャンプファイヤーもやった。

来年も来たいです!!

ふれあいキャンプ

神谷小　五年　近藤　聡太

ぼくは、このふれあいキャンプで特に思い出に残ったことが２つあります。

１つ目は、１日目の夜のまくらなげです。なぜかというと、キャンプ前からもたのしみにしていたし初めてのまくらなげでとてもこうふんしながらやっていたからです。

２つ目は、２日目の昼のやきそばです。なぜかというと、料理も楽しかったし食べてみるとめちゃめちゃおいしかったし、やき肉のタレをかけてみると味がこくなってとてもおいしくなりました。

そして、キャンプ前に外で食べるご飯はいつもよりおいしいときいていたのでいざ食べてみると、とてもおいしかったのでビックリしました。

２班　サムライ７

キャンプに行って実感したこと

おくの義務教育学校
五年　水野　創太

ぼくは、ふれあいキャンプに行って、協力についてあらためて実感しました。

火をおこしたり、出し物をしたり、室内のゲームなど大変でむずかしいものがたくさんあったけれど、すべてみんなで協力してなしとげることができました。なので、あらためて実感しました。

たのしかったキャンプ

神谷小　五年　溝井　強斗

たのしかったことは、まきわりとてっぱんやき。まきわりは、ハンマーで木をわってたのしかったです。てっぱんやきはこげたりしたけど、やきそばややさいいためがちゃんとできたから。

こころにのこったことは、みんなできょうりょくして火をつけたことです。

１回目火がきえちゃったけど、たのしかったことは、みんなで火をおこしたことです。火をおこしたことがなかったので、おもしろかったです。

友達も増えて、楽しいことをさせてもらい、ありがとうございました。

２回目はちゃんとできたからです。

友達との初キャンプ

中根小　五年　渡部　愛菜

私がこのキャンプにさんかして１番楽しかったことは、「げき」です。それぞれのグループで練習をしキャンプファイヤーの前でげきをひろうしました。私のグループは「大きなさつまいも」というタイトルでした。たくさんの友達に笑ってもらってうれしかったです。

ほかには、みんなでねる前にまくらなげをしたり、大きなお風呂に一緒に入ったり、ふだんの家では経験できないことがたくさんあり思い出になりました。私には女のきょうだいがいないので、友達とねる前に同じへやで話せて楽しかったです。

学校のちがう友達もいましたが、またいつか会おうねと約そくしました。来年もふれあいキャンプにさんかしたいです。

最後に今回のキャンプをきかくし、引率してくれた、係のみなさんにお礼を伝えさせてください。暑い中、楽しいふれあいキャンプをありがとうございました。

楽しかったグループ生活

神谷小　五年　古畑　杏奈

私がキャンプに行って心に残ったこと、楽しかったことは４つあります。

１つ目はご飯です。みんなで話しながら食べられて、楽しかったです。

２つ目は、キャンプファイヤーです。出し物も楽しかったし、みんなで火の周りをかこっての遊びも楽しかったです。

３つ目は、ねる時です。みんなでまくらなげもしたし、お話もしたりして、その時に女子全員友達になりました。みんなと友達になれてうれしかったです。

４つ目は、グループです。「サムライ７」という名前で最初は仲良くできるか不安だったけど、みんなやさしいし、おもしろくて安心しました。「おおきなさつまいも」というげきも楽しかったし、班長さんがおもしろくてめっちゃ楽しかったです。もうこのグループじゃないと思うとすごく悲しいけど、来年も楽しみです。

たのしかったキャンプ

中根小　六年　藁科　凛

ぼくは、キャンプが始まる前は、うきうきする気持ちときん張する気持ちがありました。でも初めての人ともすぐ仲良くなりました。

一番楽しかったのは火起こしです。班の人たちと協力して火をおこしました。まきを割るのが難しかったです。無事に火が着いて焼いて食べたマシュマロは甘くておいしかったです。

出し物も成功してうれしかったです。すごく楽しかったのであと１泊したかったです。最高の夏になって良かったです。

３班 サマーキャンプ

無　題

神谷小　六年　山﨑　茉穂

私は８月22日と23日にふれあいキャンプに行きました。１日目は火を起こして、マシュマロ焼きをしました。外はカリカリで中はとろとろですごくおいしかったです。その後に班のみんなで、キャンプファイヤーの練習をしました。少しだけ練習をして、あとはみんなで遊びました。キャンプファイヤーではみんなの劇を見れたし、自分たちもうまく出来たのでよかったです。部屋では、みんなでまくら投げをしたり、お話をしたりしてとても楽しかったです。２日目

は、起きたらラジオ体そうをして、朝食を食べました。たまごが甘くておいしかったです。その後は、みんなでビンゴをしたり、ゲームをしたりしました。お昼ごはんは自分たちで、焼きそばと焼肉を作りました。家のキッチンとはちがくて、火加減が調整できないので大変でした。でも、とってもおいしく出来たのでよかったです。お昼ごはんを食べ終わると、白浜少年自然の家を出発しました。たくさん友達も増えたし、もう１日泊まりたいくらい楽しかったです。

最高の思い出

ひたち野うしく小
六年　平岩　花帆

初めは家族とはなれてしまうことや班の人がちがう小学校の人で不安がありました。でも実際過ごしてみると少しずつ話すことができて、不安よりも楽しいという気持ちの方が多くなっていきました。部屋では女子全員と仲よくなったりキャンプファイヤーや鉄板焼きでは班の人や先生と協力して行ったことが心に残ってます。今まで聞いたことのない歌やゲームができたことが楽しかったです。中学になると参加できなくなってしまうので中学のキャンプも企画してほしいです。

ふれあいキャンプのおもいで

おくの義務教育学校
五年　荒井　庵

１日目は、マシュマロをやいたときそとがわがさくさくでなかがもちもちだったのでおいしかったです。

２日目は、やきそばやバーベキューをつくるときミスをしたりキャベツのかわをおとしたりしたとき仲間にささえてもらって、ごはんをたべたときはおいしかったです。

キャンプ

ひたち野うしく小
五年　田畑　将吾

楽しかったことはキャンプファイヤー、ゲーム、鉄板やきです。キャンプファイヤーではいろんなおどりをおどったのでたのしかったです。ゲームではみんなでなにがあったかおぼえるゲームがあって特にたのしかったです。鉄板やきは料理をしたのでたのしかったです。

楽しかったキャンプ

中根小　五年　花町　やえ

３班から１班に変わっちゃったけどバスとか白浜少年自然の家の中で楽しくできました。１日目のキャンプファイヤーではすごいけむくて大変だったけど、みんなの出し物とかがおもしろかったです。ねるときは、みんなでなかよくねました。２日目のあさごはんは、にんじんがあまかったけどおいしかったです。おひるごはんの焼きそばをつくるのは大変だったけどはじめてでっぱんで焼きそばをつくっておいしくできたのでよかったと思います。今年の宿はく学習でも白浜少年自然の家に行くのでたのしみにしています。

4班 自然とキャンプとご飯粒

思い出に残ったキャンプファイヤー

牛久小　六年　山﨑　希繋

ぼくが、このキャンプで一番心に残っている事は、キャンプファイヤーです。

みんなで話し合い作り上げたもちろうのげきは、協力を重ねた分、心に残る楽しい思い出となりました。また、火を囲んで踊り燃え上がる炎の中での神様のお話は、とても心にひびきました。このような体験が特に思い出に残るキャンプファイヤーとなりました。

また、機会があれば参加したいです。

最後におせわになったみなさん、いっしょに参加してくれたお友達、ありがとうございました。

たのしかったキャンプ

ひたち野うしく小
六年　田畑　咲希

私のたのしかった出来事は４つあります。１つ目は、女子全員でねた事です。りゆうは、友達とねたことがあまりなかったからです。２つ目は、ごはんを作ったことです。実際に火をつけて、ごはんを作ったことがなかったからです。

３つ目は、４班で劇をやったことです。理由は、なかなか４班のみんなと劇をする事ができないけどできてよかったです。

４つ目は、みんなキャンプファイヤーをしたことです。理由は、みんなと笑いながら、キャンプファイヤーをしたことが何より楽しかったです。

このイベントに行って、キャンプには大変だけじゃなく、楽しさもあることがよく分かった。

キャンプ

おくの義務教育学校
五年　竹内　煌人

ぼくがキャンプにさんかして心にのこった思い出は、マシュマロ

焼きがものすごくおいしくなかったことが心に残ってます。

たのしかった思い出は、夜のねるときです。なかいいお友達とおはなしをしていることがたのしかったです。

バスのなかでやることがなかったので、次からは何かあるとよいとおもいました。

無　題

おくの義務教育学校
五年　齋藤　幸雅

このキャンプで一番心に残ったのが鉄板焼きです。鉄板焼きをやっているときは、火加減が分からず鉄板の油にもえうつってしまって、しばらく鉄板が片方使えなくなってしまい、かなり時間がかかってしまいました。

大変だったことは、キャンプファイヤーの出し物企画の練習です。出し物のセリフをおぼえられなかったことです。

楽しかったキャンプ

中根小　五年　下山　亜子

私が心に残っのこったことはねるときとごはんを作るときです。ねるとき、みんなと雑談やまくらなげをしたこと。あとごはんを作るとき、グループの人と協力できたからよかったです。あと、友だちもいっぱい増えてうれしかったです。来年も参加したいです。ありがとうございました。

キャンプをやってたのしかったこと

向台小　五年　大本　愛結

私がたのしかったことは、名前をわすれてしまいましたが、２番目にさいごだったゲーム、どうぶつをさがすやつです。どこにあるのかわからないけどみんなと考えてこうどうするのがたのしかったです。でも、一番たのしかったのは、やっぱりキャンプファイヤーです。

歌もたのしかったし、げきもたのしかったし、うたいながら、まわっておどったのもたのしかったし、なにより炎のおとがとってもいいおとだったし、いろもきれいでとてもいやされました。あと、まくらなげもみんなとやってとってもいい日になりました。

５班　マシュマロファイヤー

無　題

ひたち野うしく小
六年　野田　吉遥

ぼくがこのキャンプを通じて心に残ったこと、楽しかったことはそれぞれ１つずつあります。まず心に残ったことは、キャンプファイヤーに火をつける直前に、火の神からそれぞれ火をもらったけれど（ちなみに自分がもらった火は「愛」の火）、個人的に「信らい」の火がほしかったなぁと思ったことです。次に楽しかったことは、マシュマロ・鉄板焼き作りで、自分は２回とも火の番をしていたけど、まきをくべたりするのが個人的になんか楽しくて、「時間制限とかなかったらずっとやりたいな」と思いました。結果、今回のキャンプは、とても楽しかったです。生涯学習センターの皆さん、マネージャーの皆さん、ボーイスカウトの皆さん、ありがとうございました。

ふれあいキャンプで楽しかったこと

おくの義務教育学校
五年　石井　大輝

ぼくはふれあいキャンプで楽し

かったことが２つあります。１つ目は火を自分たちでつけることです。理由は、ふだんは火をつけることがないけど、ふれあいキャンプでは火をつけられたから楽しかったです。２つ目は夜みんなでごはんを食べたり、よふかしすることはあんまりないからです。いつもできないことができて楽しかったです。

プさんかしようね！」と約束もしました。

　このキャンプでいろいろなけいけんと思い出を作れました。ありがとうございました!!

　また来年もさんかしたいです！

初めての友達

神谷小　五年　矢作　結香

　知らない学校の子や初めて会った子がたくさんいて最初はびっくりしたけど、１日目の夜、女の子全員と仲良くなれました。

　とってもうれしかったです！まくらなげをしたり、くらやみでおにごっこしたりと、いろいろ遊びました!!

　別れる時が来ると、とってもとってもさみしかったです。

　同じ学校の子はいましたが、他の学校の子が帰ってしまうと、その倍にさみしくなり、最後に５年の子２人と「来年もキャン

各部会の今後の活動予定

社会環境部会

社会環境調査活動（年２回）

花の植栽（11月・３月）

中央生涯学習センター・牛久消防署・牛久地区交番

家庭環境部会

親子ふれあい教室

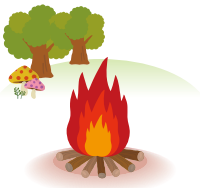
期日　12月10日（日）

場所　中央生涯学習センター・奥野生涯学習センター

親子ふれあい映画鑑賞会

期日　２０２４年３月17日(日)

場所　中央生涯学習センター・文化ホール

編集後記

　子どもたちの感想文を読むと、キャンプでいかに多くのものを得たかよく分かります。これまで使ったことのない道具でやったことのない作業をやって、あるいはゲームや枕投げをやって、手先や頭や心にどんなことを吸収したか。キャンプファイヤーの寸劇で何をアピールしようとしたか。知らない子どもとどういう風に接点を持ったか。これからの人生に必ず役に立つことをたくさん経験したのです。